

# 英原発計画 「凍結」問題

# 安倍政権の 責任問われる

## 共産党・小池書記局長が批判



日本共産党の小池晃書記局長は12月17日、国会内で記者会見し、日立製作所が英国の原子力発電所建設計画のための出資企業集めに難航し、同計画を凍結する公算が大きくなったとの一部報道に言及し、世界の流れに逆らう原発輸出を「トップセールス」でやると豪語してきた安倍晋三首相の責任は重大だと批判しました。

## 原発輸出すべて暗礁に

小池氏は、日本の原発輸出計画は、米国、台湾、ベトナム、リアニア、トルコ、インドと今回の英国でそれぞれ断念や保留に追い込まれており、「すべて暗礁に乗り上げている」と強調。東京電力福島第1原発事故などで原発の安全性が破綻し、安全対策の高コストが明らかになったことがその原因だとして、「まさに首相みずからがトップセールスでやってきたことが破綻したということになる」と指摘しました。

その上で、「安全性への疑問符と高コストが各国の原発計画断念の理由なのに、日本政府はいまだに国内で“原発はコストがかからない”と言い募って、原発政策を推進している。あまりにも世界の流れに逆行するようなやり方だ」と強調。「原発政策を転換し、原発ゼロへいよいよ踏み出すべきだと求めている」と表明しました。

### 原発計画の凍結の 公算を報じる各紙



## 市民+野党で原発ゼロの日本を!!

国民世論を無視して原発の再稼働を推進し、海外へ輸出する政策を進めてきた安倍政権に退陣の声を突きつけ、原発ゼロの日本をつくるため力をあわせましょう。



参議院議員(東京選挙区選出)

きらよしこ

# 吉良よし子 日本共産党

東京  
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590  
2018年12月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。  
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可